（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	い～まCrea大治Ⅱ

公表日　令和8年　3月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準より広いスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・加配加算を算定しているため、基準以上に職員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・玄関にはスロープがあり、室内の段差も少ない ・ラミネートしたイラストを使用し、視覚的な支援を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行い、清潔な環境を維持している ・汚れた場合はすぐ対応している	・外で活動をすることはないが、駐車場や建物裏の環境整備が十分にできていないことがあった
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室やパーテーションの使用で集中できる環境を整えている ・必要に応じてクールダウンの場として使用もしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を参考に業務改善を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日のミーティングや何かあればでその都度意見を聞いている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月1ケースカンファレンスを実施している ・月1のエリア会議でサービスの枠を超えてケースカンファレンスを行うこともあった	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・社内で検討を重ねたものを公表している ・新規面談の際にHPで公表していることをお伝えしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・状況把握のため簡易な発達検査を実施している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・日々のミーティングや月1ケースカンファレンスで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・新たな取り組みを行う場合は記録書式を作成している ・毎年決まった時期に簡易な発達検査を実施している	・記録の一部電子化を検討している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日のミーティングで日々の活動の内容について話し合っている ・長期休暇中の小ゲームなどスタッフでアイデアを出し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・曜日別でカリキュラムが組まれており、利用者の様子や成長に合わせてレベルや内容を変えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状況や内容等も考慮し、指導方法は変えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○			・当日は難しいため、翌日振り返るようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録を残し、次の指導に繋げている	・取り組みの内容の変化に記録の様式の作成が間に合わないことがあるため改善していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・子どもの状況に合わせ見直し、変更を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・子どもの意思を決めつけないように気を付けている ・選択肢を用意するなど、1人ひとりに合わせた方法を考えている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・実績はないが、連携をとる体制はある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・基本的には保護者を通じて行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・新規面談時に保護者より聞き取りを行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・対象者がいないが、必要に応じて情報提供を行うことは可能
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・代表者が参加し、運営にも携わっている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時など、必要に応じて情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングの要望は現状ない ・常に相談は受け付けている
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・初回面談時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別支援計画の作成、見直しをする際は確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		・直接、もしくはお電話にて説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・常に相談は受け付けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・要望として増えてくることがあれば、実施を検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった場合は迅速に対応し、再発防止に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・HP上のブログやインスタグラムで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書庫の施錠を行っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・モニタリング面談は、各ご家庭の要望を確認した上で形式を決定している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・要望があれば実施を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・スタッフ全体で様々な状況を想定した訓練を行っている	・家族への細かい周知ができていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、年1回訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者より具体的な対応方法についてお聞きしている ・今年度はてんかんに関する研修を行った	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者より聞き取りを行い、対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ミーティング等で情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・事業所で研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・保護者の同意のもと、適切に行うよう努めている	